

研究課題：

1. 研究の目的

腎盂尿管移行部通過障害（UPJO）によって高度水腎症(3度以上)となった場合、腎盂形成術を要する例と経過観察例がありますが、両群の予後に関する検討は少なく、その臨床経過を検討します。

2. 研究の方法

2005年から2017年の間に、胎児期・新生児期にエコーで水腎症を指摘されて腎臓科受診し、生後3ヵ月頃に画像検査入院を実施しましたUPJOによる高度水腎症36例（男児30例）を対象とし、後方視的に検討します。

3. 研究期間

倫理委員会承認後～2021年12月31日

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

本研究の内容に関しては後に学会または誌上で発表し、公表します。

6. 研究組織

独立行政法人埼玉県立小児医療センター 腎臓科

研究責任者：藤永 周一郎

研究分担者：遠藤 翔太

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年12月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

独立行政法人埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）